

# コンフィックスSM-AA

コンフィックスSM-AAは特殊シラン系化合物とシロキサン系化合物をハイブリット化した撥水系表面含浸材です。コンクリート面やモルタル面に塗布、含浸させることにより、耐吸水性を発揮し、従来のシラン系材料が持っていた撥水性機能に加え、劣化抑制機能を併せ持った新しい表面含浸材です。

## ■特長

### 1. 劣化抑制

- ・撥水層を形成し、セメント硬化体内部への水の浸透を防ぐため、塩害、カルシウム成分の溶脱などを抑制いたします。
- ・シロキサン系化合物が表面の空隙を充填することで、従来品と比べて劣化因子の浸入抑制に優れるため中酸化、塩害、凍害（垂直面）などの抑制に効果的です。

### 2. 美観保持

- ・水の浸入を防ぐため、外的要因によるエフロレッセンスの汚れを抑制します。
- ・塗布前後において、濡れ色、艶むらなどの外観の変化はありません。

### 3. 維持保全省化

- ・コンクリート構造物の劣化を抑制し、かつ外観を長期にわたって美しく保つため、維持保全を省力化しライフサイクルコストを低減いたします。

### 4. 優れた作業性

- ・沿直面に塗布しても液ダしいたしません。
- ・ローラー、刷毛または吹付けなどで簡単に施工ができ、特殊な機械装置を必要といたしません。

### 5. 作業効率の向上

- ・従来の方法では、撥水处理と劣化抑制処理を行うには、2工程以上の作業が必要でした。本材料では、特殊シラン系化合物とシロキサン系化合物を1材としてハイブリット化されていますので、1工程で撥水处理と劣化抑制処理を同時に施工することになります。

## ■用途

- ・各種土木構造物、橋梁の各部位、栈橋、海洋構造物
- ・新設鉄筋コンクリート構造物の予防保全

## ■使用量

- ・塗布量は0.2~0.3 kg/m<sup>2</sup>（2回塗り）

## ■使用方法

1. 施工面は高圧洗浄等により、油脂、汚れ、埃等を除去してください。また、欠損部やひび割れは、予め補修モルタル等で補修してください。
2. 施工面は乾燥面としてください。（表面含水率 10%以下）
3. 施工はローラー、刷毛、スプレーガンを用いて均一に塗布してください。尚、吹付けの際、塗布用のエアレスタイプの吹付け機器を使用して施工して施工してください。

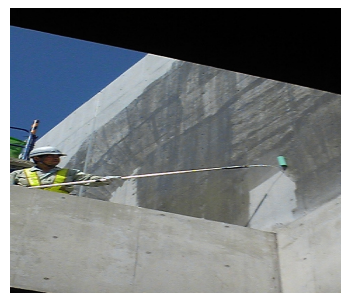
## 【使用例】



下地面の含水率確認



ローラー施工



ローラー施工



スプレー施工



施工直後

### ■性能（表面保護工法 設計施工指針（案）（土木学会）表面含浸材による評価【モルタル基盤】

評価項目		グレード区分			コンフィックスSM-AA	
性能	評価値（％）	A	B	C	評価値	評価
透水に対する抵抗値	透水抑制率	80 以上	80～60	60 以下	96%	A
吸水に対する抵抗性	吸水抑制率	80 以上	80～60	60 以下	96%	A
透湿性	透湿比	80 以上	80～60	60 以下	100%	A
中性化に対する抵抗性	中性化抑制率	30 以上	30～10	10 以下	33%	A
塩化物イオン浸透抵抗性	塩化物イオン浸透抑制率	80 以上	80～60	60 以下	90%	A

### ■使用及び取り扱い上の注意事項

- ・使用前に容器をよく振り内容を攪拌してから使用してください。
- ・外気温及び施工面の表面温度が5～40℃の範囲内で使用してください。
- ・本材は消防法による危険物第4類第一石油類に属します。屋内で使用する場合は十分に換気を行ってください。
- ・本材はコンクリート、モルタル下地への適用を目的としていますので、補修材の種類によっては含浸しない場合があります。
- ・本材は、ひび割れ補修、防水用途及び耐摩耗性の強化への適用はできません。
- ・本材は、直射日光を避け、5～35℃の屋内に保管してください。
- ・皮膚に付着した場合は、直ちに石鹸や水で洗浄してください。また、目に入った場合は浄水で十分に洗浄し専門医の診察を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合、水または牛乳を飲ませて吐かせ、専門医の診察を受けてください。

## 株式会社 ダイプレックス RESITECT 【代理店】

〒163-0825 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 25F 私書箱 6086 号

レジテクト事業グループ

本社・東京支店 / TEL. 03-5381-0666 FAX. 03-5381-0670

大阪支店 / TEL. 06-6292-0533 FAX. 06-6292-0522

札幌営業所 / TEL. 011-804-5961 FAX. 011-806-3120

仙台営業所 / TEL. 022-788-1262 FAX. 022-236-5832

新潟営業所 / TEL. 025-279-3061 FAX. 025-279-3065

名古屋営業所 / TEL. 052-686-0101 FAX. 052-735-3992

福岡営業所 / TEL. 092-432-9220 FAX. 092-432-9221